

SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

宣言日 2022 年 1 月 1 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿		
「おいしいお茶の提供」という事業活動を通じて社会の幸福の追求と持続可能な地域社会の発展に寄与する。		
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動		
自然植物由来のティーバッグの採用により、脱ペットボトル化を図り地球環境に優しい新しいお茶の楽しみ方を提案する。		
目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組内容	2022年12月31日までの取組目標
	お茶を通じてすべての人の健康と笑顔のある生活を推進する。	ホームページや取引先を通じてお茶の効能とお茶のある暮らしの豊かさを伝えて行く。
	男女を問わず育児休業を積極的に支援し、男女が平等に働ける仕組みづくりを行ってきた。	制度の継続的な運用と、社員への周知の徹底化。（食堂などへの掲示）
	脱ペットボトル化の先陣を切って、環境に優しいティーバッグの普及を進めてきた。	現在普及している植物由来のティーバッグは当社と東レの共同開発であり、全国で広く採用されるに至っている。この取組を継続発展させて行っていく。
	HACCP認証を取得し、安心して飲める緑茶の製造に取り組んできた。	衛生・安全に関する取組を強化し、一層の安心を消費者にお届けする。（手順書に定められた衛生管理基準を確実に実施し記録する）
	ペットボトルの海洋投棄を減らすためのティーバッグの活用による新しいお茶の飲み方を提案。	環境に負荷をかけないティーバッグ使用の促進。更に包装紙なども今後工夫を加える。（再生紙使用率10%UP）
	若い世代へ緑茶の魅力を伝道する取組を行う。	緑茶の復権により減少した茶畑の再拡充を目指し、陸の緑の発展につなげる。

（記載上の注意）

- 「目標に関連する取組内容」は、**3つ以上のゴール**に関する取組を記載してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 取組目標は、**出来る限り定量的に記載**してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、**毎年1月に達成状況を報告**していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	竹沢製茶株式会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	3. 製造業	
3	従業員（構成員）数	60人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
		氏 名	竹澤重人
5	所 在 地	〒 421-1223	
		静岡県葵区北番町61-2	
6	ホームページURL	http://www.takezawa-seicha.co.jp	